

「増幅回路基礎」の実験の進め方について

「増幅回路基礎」は、グループを 2 つに分け、2 週連続の実験となる。

座席は班ごとに分けるので、2 週とも同じ席に着席すること（実験配置図を参照のこと）
実験機器には各々ラベル（例：Tr1 - 01 のように番号付けされている）が貼ってあるので、
統一して同じラベル番号の機器を使うこと（番号の割当ては当日ホワイトボードで指示）

またこの実験では、表 1 に示す機器を、窓側の棚の中から実験の進行（図 1 を参照のこと）
に応じて各自で出し入れして準備する必要がある。片付けの際にはこれらの機器を
元あった場所に同じように（並び順や向き、付属品の状態なども正しく）収納すること。

表 1 「増幅回路基礎」において自分で取りに行く使用機器一覧

名称	型番等	数量
① 直流安定化電源	TEXIO PR18-1.2A	1
② 発振器	GW INSTEK GAG-810	1
（発振器用電源コード）	（片付けの際には結んで収納）	1
③ オシロスコープ	IWATSU SS7802A	1
（オシロスコープ用プローブ）	（片付けの際には緩く巻いて収納）	2
④ デジタルマルチメータ	YOKOGAWA TY710	2

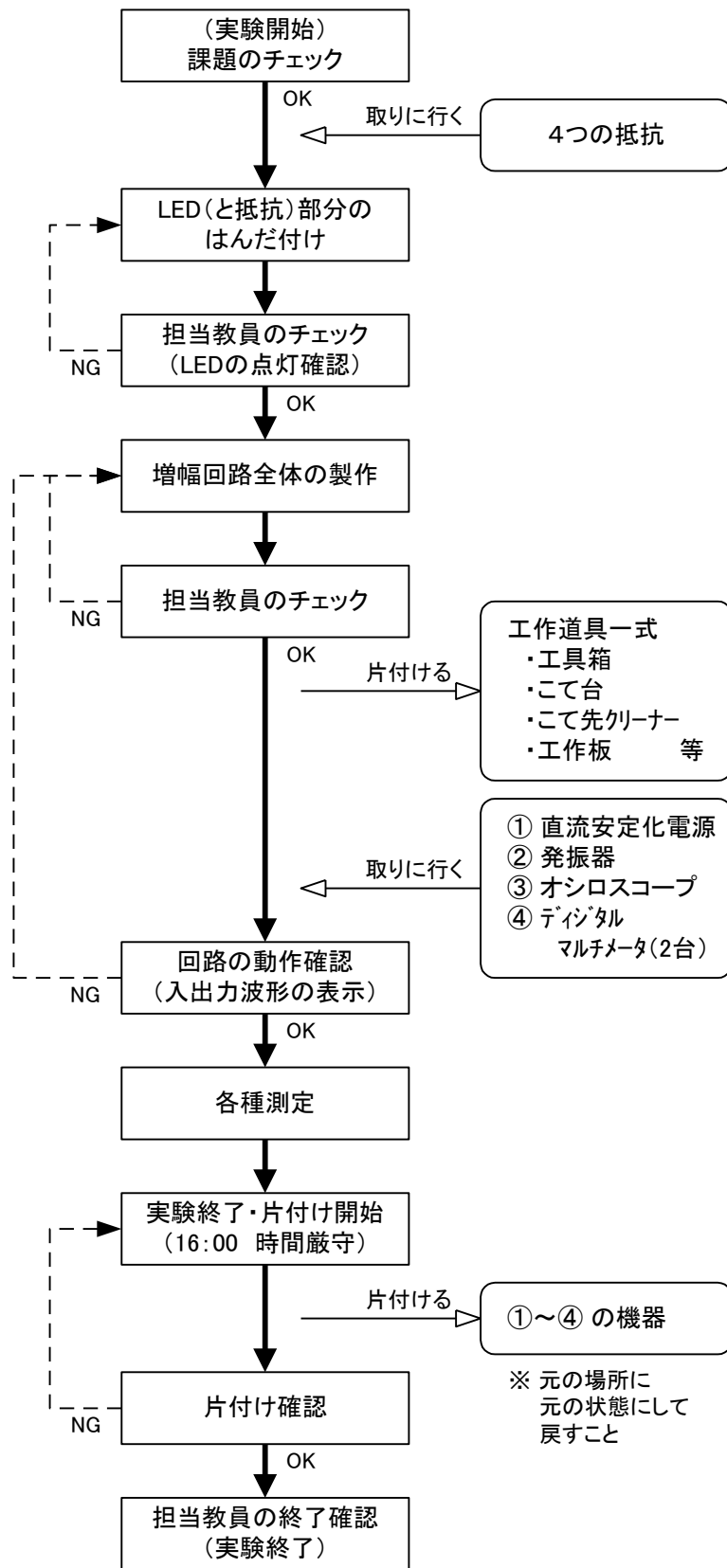


図1 「増幅回路基礎」の実験の流れ